

障害のあるなし、障害種別をこえて
みんなが集まるアピール大集会&大行進



みやぎアピール大行動2020

Since2007

コロナ禍・災害で感じた差別や生きづらさ
“それでも地域で 私たちは生きていく”

11/1(日) 開場 12:00

■集会 13:00-14:40 (予定) 〈資料代 500円〉
エルパーク仙台セミナーホール1・2
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル)

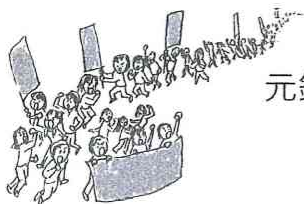
☆今年のアピール大集会は
〔当事者リレートーク〕

- ・及川篤生さん (宮城県視覚障害者福祉協会)
 - ・細川かおるさん (宮城県聴覚障害者協会)
 - ・櫻井 理さん (日本筋ジストロフィー協会宮城県支部)
 - ・及川 智さん (みやぎアピール大行動実行委員会)
- 他、事業者、家族等、それぞれの立場から発言予定。

手話通訳 / 要約筆記



■デモ行進 15:30 (予定)



〔プラカードもって街に出よう!〕
元鍛冶丁公園集合・出発
～一番町商店街アーケード
～仙都会館前解散

主催/みやぎアピール大行動実行委員会

事務局/仙台市宮城野区松岡町17-1 (コッペ内)
Tel: 090-9740-7799 (代表: 鷺見) FAX: 022-299-1279
メール: appeal318@hotmail.co.jp

障害があっても街に出よう、多くの人と交流し、差別をなくしていこう、これが私たちの活動の原点です。コロナへの感染予防対策はその真逆。私たちの思い、積み重ねを否定するようになります。

そして、感染した人への誹謗・中傷・差別は、これまでの障害者差別と重なります。コロナの感染が、異質のものを排除する考えを助長していないでしょうか。

もはや誰が感染してもおかしくない状況。それに関わらず、感染した人・感染者を出した団体が社会に謝るような状況は間違っていると思います。

コロナ禍、差別、生きづらさ、それでも地域で私たちは生きていく!

感染予防は重い。でも、思いを伝えることはできるはず!

例年とは少し違う形ですが、今年もやります、みやぎアピール大行動2020。

多くの人に来てほしいけど、無理もしないでほしい。そんな気持ちで参加を呼びかけます。